

# 2023年度 活動報告書

特定非営利活動法人シブヤ大学

## 見つける学び場。

シブヤ大学は、誰でも無料で学べる、まちの学び場です。

特別な技術を身につける場所でも、研究を行う場所でもありません。

ここは、あなたが“何か”を見つかる場所。

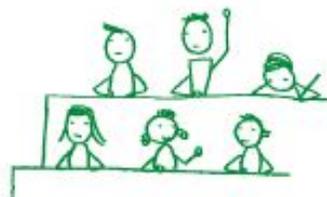
シブヤ大学が提供するものは、きっかけとなる学びです。

好きなことを見つけよう。豊かな暮らしを見つけよう。

仲間を見つけよう。居場所を見つけよう。

新しい自分を見つけよう。社会の変わり方を見つけよう。

あなた次第で答えは変わる。正解のない授業で、自分の答えを見つけよう。



2023年度

シブヤ大学 活動報告書

### 目次 contents

1. 2023年度を振り返って
2. シブヤ大学の17年間を振り返る
3. シブヤ大学の2023年度を振り返る
4. 2023年度授業一覧
5. 2023年度の授業について
6. 企業との連携・イベント登壇 /メディア掲載
7. 運営体制
8. 会計報告
9. 今後の活動予定

## 1. 2023年度を振り返って

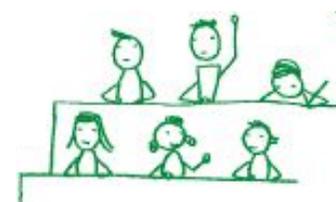
2023年度は、「都市にある学びの場」としてのシブヤ大学の価値を再確認する年だったように思います。

デンマークの教育機関フォルケホイスコーレの教員と連携した International Daysをはじめ、イタリアの市民の手で運営される「地区の家」、陸前高田の学び舎「Change Makers College」への視察、そこで出会ったメキシコの異文化交流対話センター（CEDI）との交流など、海外や地方の学びの場と積極的に連携した年でした。



渋谷外の学びの場とのつながりが増える中で考えるようになったのが、「大都市渋谷にある学びの場の役割とは何か」という問いです。

シブヤ大学が目指すのは、誰もが気軽に、無料で参加できる学びの場。  
ゆっくりと時間が流れていて、思う存分自分の興味と向き合える学びの場。  
そこに行けば、同僚でも友達でもない「誰か」に出会えて、いつ来てもほっと一息つける学びの場。



そんな学びの場をつくりたいと言うと、「なんで渋谷でやってるの？」と聞かれることがあります。  
たしかに渋谷は、人もまちも常にすごいスピードで変化していて、シブヤ大学が目指す雰囲気とは真逆のまちかもしれません。  
でも、活動を続ければ続けるほど、そんな大都市にこそ、シブヤ大学のような場が必要なのではないか、と思うようになりました。  
渋谷という世界有数の大都市で、学びを通して人々が集まり、自分らしく社会と関わっていけるような場をつくることにこそ、大きな価値があるのではないかと感じています。

2023年9月には設立17周年を迎えたシブヤ大学。今年度も多くの皆様と一緒に学びの場をつくっていただきました。  
震災やコロナ禍を経て時代とともに変わり続けながらも、  
シブヤ大学に関わる人たちが作りあげる「シブヤ大学らしさ」は変わらず大切にしながら、より充実した学びの場を開催してまいります。

これからも、シブヤ大学と一緒につくっていただけると嬉しいです。

シブヤ大学学長 大澤悠季

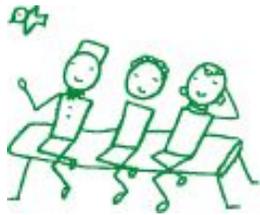
## 2023年度までに開催した授業

みなさまに支えられ、こんなにたくさんの授業をつくることができました。

いつもありがとうございます！

(集計期間:2006年9月～2024年3月まで)

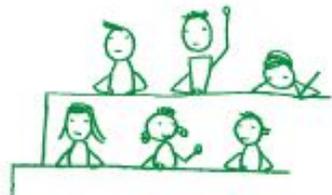
今までに開催した授業数 **1,587** 講座 



今までに授業に参加した人 **45,555**人

2023年度の授業数

**63** 講座



2023年度の  
参加人数

**606** 人

4月

## デンマーク発祥のフォルケホイスコーレと連携した International Daysを開催

日時：2023年4月3日(月)・4日(火)・5日(水)

場所：SHIMOKITA COLLEGE / co-ba ebisu / ケアコミュニティ・原宿の丘

デンマーク発祥の成人教育機関「フォルケホイスコーレ」の教員と一般社団法人IFASと連携し、デンマークの学生と日本人参加者が渋谷を舞台に相互の暮らしや文化を学びあう3日間のプログラムを開催しました。世界的都市である渋谷にある学び場としての役割や、学びという国を超えた人間の普遍的な欲求を通じた交流の価値を確かめる機会になりました。



5月

## 「歩くようなはやさで生きる人のためのリベラルアーツ」書籍( ZINE)を発売

2021年12月～2022年4月にかけて実施したシリーズ授業「歩くようなはやさで生きる人のためのリベラルアーツ」の内容を文字起こし・再構成し、追加コンテンツを加えた書籍(ZINE)を発売しました。

シブヤ大学初となるZINEでは、山本貴光さん、吉川浩満さんという豪華ナビゲーターに加え、全4回の授業のゲストである、倉本さおりさん、橋迫瑞穂さん、小川さやかさん、永井玲衣さんに、それぞれ「本を読む」「信じる」「生活を知る」「対話する」というテーマでお話を伺いました。

リベラルアーツに初めて触れる方でも、楽しく自分のペースで、気になるテーマのページから読み進められるよう工夫をしました。



購入はQRコードからどうぞ。



7月

## 高校生との対話の場「ヒューマンライブラリー」を開催

シブヤ大学と川崎市立幸(さいわい)高等学校とのコラボレーション企画として、少人数での対話の場「ヒューマンライブラリー」を開催しました。「ヒューマンライブラリー」は、2000年にデンマークで始まった取り組みで、人を貴重な物語が詰まった「本」と見立て、参加者(=読者)との対話を通して相互理解を深めます。

当日は、川崎市立幸高等学校の1年生を対象としたキャリア教育の時間を活用し、シブヤ大学のボランティアスタッフを中心に10代から60代まで約50名の社会人が参加しました。

少人数グループで多様な人の「これまでの人生の選択」についての話を聞いた高校生からは、「自分が好きなことは好きでいつづけようと思った」「一般的な働きかた、生き方が大切なわけじゃなく、自分を大切に生きていくことが一番すごいことなんだと思った」などの感想が寄せられました。

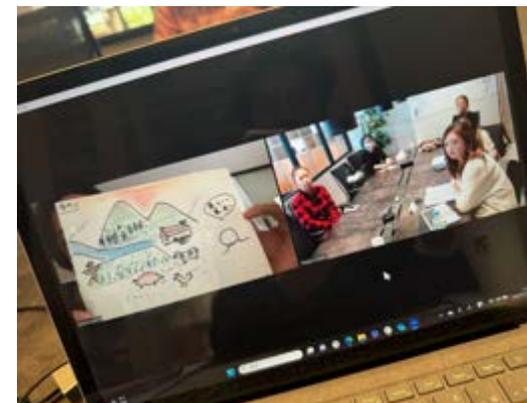


9-11

月

## シブダイラボ第1期「美」がスタート

2023年9月～11月にかけて、「シブダイラボ」第1期を実施しました。シブダイラボは、ボランティアスタッフ有志が立ち上げた、名前の通り大学の「研究室」のような場所です。授業とはちがいで、教えてくれる先生はいません。ある共通のテーマに関心がある人たちが定期的に集まり、関心が深まっていくプロセスを共有しながら、各々の関心を自ら主導権を持って深めていく場としてスタートしました。第1期のテーマは「美」。約12名のメンバーで全4回のラボを実施しました。



10-2

月

## しづやをつくるゼミ第3期がスタート

2023年10月～2024年2月にかけて、「しづやをつくるゼミ」第3期(説明会+全7回)を実施しました。しづやをつくるゼミは、2021年から始まった一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメントとのコラボレーション授業で、今年で3期目になりました。今年、「私たちが歩きたいまち・通りとは？」というテーマのもとに、同じメンバーで約半年間、グループワークやフィールドワークなど地域を舞台に実践的に学びあうことを通して、自分たちのアイデアを発表しました。一人ひとりの思いとまちが重なり合うことで、それぞれのまちへの愛着やまちとの関わり方に大きな変化がもたらされ、誰もが参画できるまちづくりの面白さを体感する時間になりました。



11月

## イタリア「地区の家」視察

2023年11月12～18日にかけて、イタリアのミラノ、トリノ、アレッサンドリアなど北イタリア地区を中心に、市民がつくる公共の場所「地区の家」や元修道院のユースホステル、刑務所での演劇プログラム、絵本専門の出版社などを訪れました。シブヤ大学の事務局スタッフ、聖心女子大学の澤野先生、NPOぱれっとの職員の皆さんをはじめ多様なメンバーでの視察でした。シブヤ大学としては2回目のイタリア来訪。前回訪れたアレッサンドリアの地区の家にも再度来訪し、国境を超えて共通の思いを持つ方々がどのような取り組みを行っているのか、直接お話を聞いたり肌で感じることで、シブヤ大学が開く場の意義を再度見つめ直す貴重な機会となりました。



12月

## 陸前高田 Change Makers Collegeにて開催された「グローバルホイスコーレキャンプ 2023」に参加

2023年12月1日～3日にかけて、岩手県陸前高市広田町の学び舎Change Makers Collegeにて開催された「グローバルホイスコーレキャンプ」に、シブヤ大学の事務局スタッフ・ボランティアスタッフ計6名が参加しました。3日間のプログラムでは、メキシコのオアハカ州で教師、プログラム、肩書きなしに自由な学習ができる空間を運営する異文化交流対話センター(CEDI)を運営するお2人のゲストと、全国から集まった参加者とともに共同生活を通して学びあいながら、今後の教育のあり方について意見交換を行いました。日本とは異なるメキシコの歴史的背景や先住民族との共存の知恵、大切にしているモットーなどを伺い、多様な背景を持つ人がともに学びあう地域の学びの場の重要性について再確認する時間になりました。



## シリーズ授業「わたしとウクライナ」を実施

2023年11月～2024年2月にかけて、ウクライナ避難民運営食堂Nadiyaとのコラボレーション授業「わたしとウクライナ」を実施しました。全3回の授業では、避難民や現場で支援にあたる方々をゲストにお迎えし、参加者とウクライナの個人間のつながりをつくることを大切に企画しました。第1回は、ウクライナ避難民のダリアさんと、Nadiyaを運営する別當さんから、避難民としての日本での暮らしや支援の現場が抱える課題についてお話をいただきました。第2回は、実際にNadiyaに足を運び、ウクライナ料理をいただきながら、そこで働く避難民の皆さんと交流しました。第3回は、戦争が始まる前から友人同士だったウクライナ人のホーマさん、ロシア人のカティアさんをゲストにお迎えしました。生まれた街の話、2人が国際交流団体を通じて出会った話、戦争に引き裂かれながらも日本で念願の再会を果たした話など、私たちと変わらないごく普通の20代の若者が体験したライフストーリーを聞く時間は、胸に刺さるものがありました。「友情に国籍は関係ない。平和とは個人の中で育て、隣にいる人を大切にすることだ」というお2人の話が印象的でした。



11-2月

12-3  
月

## ソーシャルファームワークショップ(全 4回)がスタート

2023年12月～2024年3月にかけて、東京都とのコラボレーションにより、様々な事情で就労に困難を抱える人たちが楽しく働くことができる職場「ソーシャルファーム」の思想と実践を知り、未来の社会を考えるワークショップを実施しました。全4回の授業では、ソーシャルファームがなぜ必要なのか？といった基礎知識から、ソーシャルファームの発祥の地でもあるイタリアの事例、そして実際に日本でソーシャルファームとして認定されている企業で働く方々のお話を伺うところまで、誰もが楽しく働くことができるような職場をどう実現していくかを参加者の皆さんと考えました。

### ▼ソーシャルファームワークショップ(全 4回)

【第1回】ソーシャルファームって何だろう？

【第2回】世界のソーシャルファーム～イタリア・アレッサンドリア「地区の家」の活動から

【第3回】ソーシャルファームのリアル(働く人の目線から)

【第4回】ソーシャルファームのリアル(雇う人の目線から)



12月

## 神奈川大学社会教育課程の学生との共同授業を開

**催**3年12月の2日間、神奈川大学社会教育課程の学生たちとともに5つの授業を開催しました。

この取り組みは、代表理事左京が非常勤講師として兼務する同校の科目「地域デザイン演習Ⅲ」において、学生たちが実際にシブヤ大学の活動に参加しながら、地域における社会教育の活動について学ぶ演習型の授業の一環として実現しました。シブヤ大学のスタッフがサポートに入りながら、講座の企画や当日の場づくりまで、約4ヶ月間にわたり学生たちが議論を重ね、多様な視点の5つの授業が生まれました。

### ▼神奈川大学社会教育課程の学生との共同授業

- ・「誰も」が「自分らしく」生きていくために
- ・DEEP THINKING～終わりなき思考に挑戦しよう～
- ・渋谷で暮らしの井戸端会議
- ・【ブックイベント選書会】悩む人と本好きさんとのアナログエンカウンター
- ・【オンライン授業】デジタルが気候変動の原因に?!「脱炭素×デジタル」を考えてみよう！



1月

## キャリアを考える高校生との渋谷まち歩きワークショップを開催

2024年1月に、一般社団法人 地域・教育魅力化プラットフォームとのコラボレーションで、「地域みらい留学」という仕組みを通して、全国各地の高校で3年間を過ごしている高校生を対象に、渋谷のまちで多様な「はたらく場所」に触れるまち歩きワークショップを実施しました。

自分が将来働いてみたい・仕事を通して関わってみたい「場所」に焦点を当て、実際のまちを歩きながら考えてみることを目的とした今回のワークショップ。高校生からは、「どんな場所や環境で働きたいかを考える機会になった」「東京の大学への進学を考えているので、自分の住むまちとは違う都会の景色を見ながら今後のキャリアを考えるヒントになった」といった声が寄せられました。



## 4. 2023年度授業一覧

# 2023年度 授業一

### 監

- 【International Days - Spring 2023 - 】DAY1  
1「暮らす場」と「まち」の関係性を考えるワークショップ～下北沢×コペンハーゲン～  
(\*English Only)
- 【International Days - Spring 2023 - 】DAY2  
2「はたらく場」と「まち」の関係性を考えるワークショップ～渋谷×コペンハーゲン～(\*English Only)
- 【International Days - Spring 2023 - 】DAY3  
3デンマークの学生と"SHIBUYAらしさ"を語ろう(\*English Only)
- 4継承の場面「多様な働き方＝百姓」と捉えたライフ＆ワークスタイル
- 5自分らしく生きるための肩書きワークショップ
- 6【ガイダンス授業(※18歳～35歳対象)】稲作を体験！ 明治神宮の森を学ぼう
- 7【ガイダンス授業(※18歳～35歳対象)】稲作を体験！ 明治神宮の森を学ぼう
- 8""死""の学校 第3回
- 9「故人のSNSアカウントはどこに行く？」
- 9「継承の場面」創業者が行きついたところ～働き方より生き方を伝えたい
- 10""死""の学校 第4回
- 10「大切な人をどう看取る？」
- 11今、台湾でなにが起きているのか？
- 12気になるテーマを深めよう！ 自分らしい関わり方を考えるワークショップ
- 13「演じる」を楽しむ～ものがたり遊びワークショップ～
- 14渋谷のど真ん中でルワンダを想う
- 15女性特有の不調をもっと快適に～セルフケアを楽しく学ぶ～
- 16はじめてのアールヴェーダ
- 17""死""の学校(第5回)「遺影 / 命をアーカイブする」
- 18点字ブロック探検隊！
- 19「継承の場面」その10  
子どもの未来について～これまで、今、これからの子育て  
学びあいのコミュニティ「シブダイラボ」
- 20第1期メンバーを募集します。テーマは""美""
- 21はじめてのアールヴェーダ
- 22""死""の学校(第5回)「遺影 / 命をアーカイブする」
- 23第三期「しぶやをつくるゼミ」ゼミ生募集説明会を開催します。
- 24朗読入門ワークショップ～みんな違って、みんないい！
- 25自分らしい生き方探求部「肩書きとわたし(私史) Vol.2」
- 26""死""の学校(第6回)
- 26「ゲームを通じて考える、人生における大切なことは？」
- 27「継承の場面11」 能楽師と刀鍛冶が伝えるその世界
- 28【シリアスゲームであそぼう！】 ボードゲームで学ぶ、お金と社会
- 29落語っておもしろい？  
～「いつか聞きたい」が「いま聞きたい」になる初めての一席
- 30わたしとウクライナvol.1～避難民支援の現場から～
- 31親子ひこうきヨガ  
～子どもの心と体を強くする～
- 32わたしとウクライナvol.2～避難民運営食堂に行こう～①
- 33わたしとウクライナvol.2～避難民運営食堂に行こう～②
- 34「誰も」が「自分らしく」生きていくために



13



14



15



18



24



28



30



29



31

## 4. 2023年度授業一覧



32



35



36



37



39



41



51

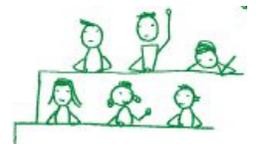


45



49

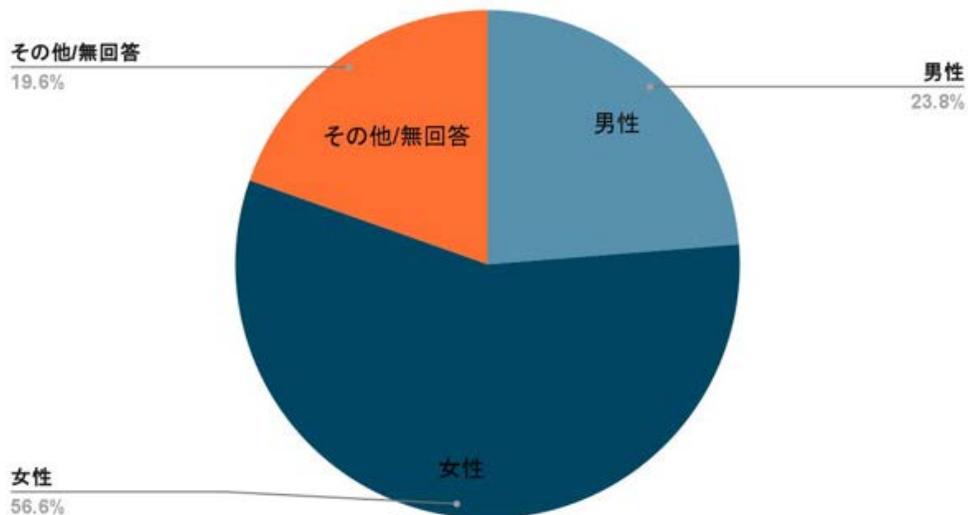
- 35【1泊2日】懐かしくて、新しい。森の京都で見つける、里山の暮らし  
@京都府綾部市  
誰もが働ける社会をつくるソーシャルファームを  
36知って、考えて、動かしたくなるワークショップ  
【第1回】ソーシャルファームって何だろう？
- 37渋谷で暮らした井戸端会議
- 38DEEP THINKING～終わりなき思考に挑戦しよう～
- 39【ブックイベント選書会】悩む人と本好きさんとのアナログエンカウンター
- 40【オンライン授業】デジタルが気候変動の原因に?「脱炭素×デジタル」を考えてみよう!
- 41はがし刷り版画ワークショップ～ワクワクのグリーティングカード作り
- 42 活動・起業を始めたキッカケに迫る vol.1  
～離婚後の子育て“共同養育”をサポートする「りむすび」代表の場合
- 43【第2回】世界のソーシャルファーム～イタリア・アレクサンドリア「地区の家」の活動から
- 44 わたしとウクライナ Vol.3  
～2つの国から来たゲストと平和を考える～
- 45はじめてのアーユルヴェーダ～オイルを作って、食事に取り入れてみよう～
- 46継承の場面12～被災地での支援活動を止めないために
- 47はじめての連句会2024  
誰もが働ける社会をつくる  
48ソーシャルファームを知って、考えて、動かしたくなるワークショップ  
【第3回】ソーシャルファームのリアル(働く人の目線から)
- 49 原宿ショーウィンドウさんぽ  
～街の表情から風景を読み解く～  
誰もが働ける社会をつくる  
50ソーシャルファームを知って、考えて、動かしたくなるワークショップ  
【第4回】ソーシャルファームのリアル(雇う人の目線から)
- 51 手で書くことから見えるもの  
～ジャーナリングを学ぶ～
- 52 はじめてのクリムチェック  
～韓国絵本の世界～
- 53しぶやをつくるゼミ第1回
- 54しぶやをつくるゼミ第2回
- 55しぶやをつくるゼミ第3回
- 56しぶやをつくるゼミ第4回
- 57しぶやをつくるゼミ第5回
- 58しぶやをつくるゼミ第6回
- 59しぶやをつくるゼミ第7回
- 60シブダイラボ第1回
- 61シブダイラボ第2回
- 62シブダイラボ第3回
- 63シブダイラボ第4回



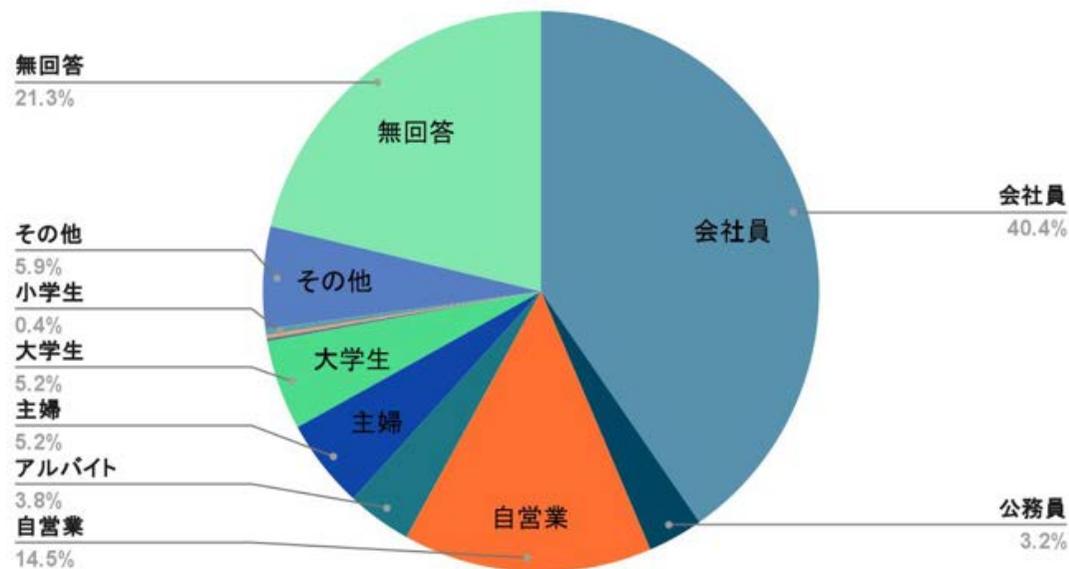
# 2023年度の授業について



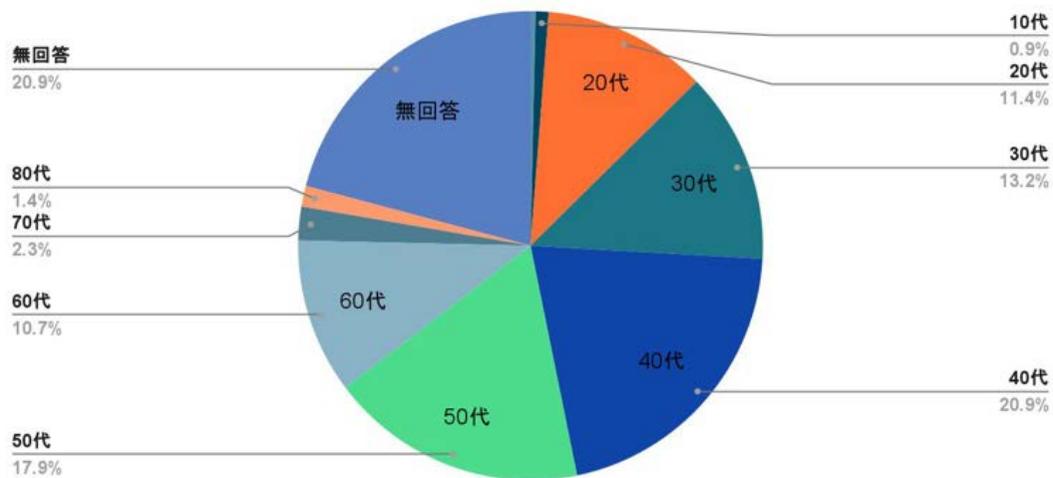
参加者の男女比



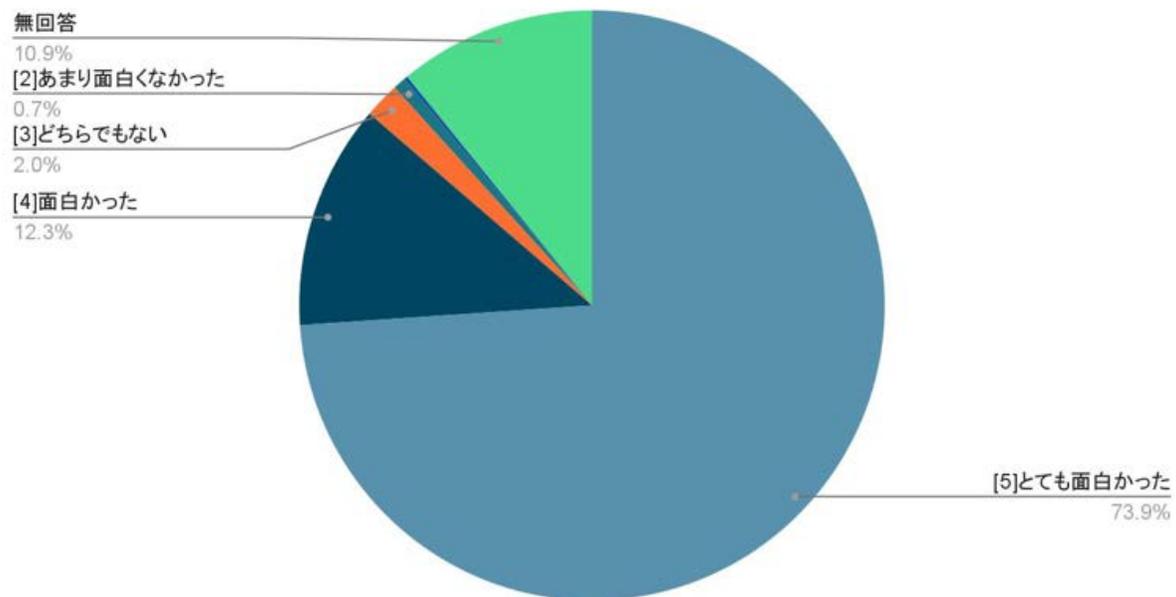
参加者の職業



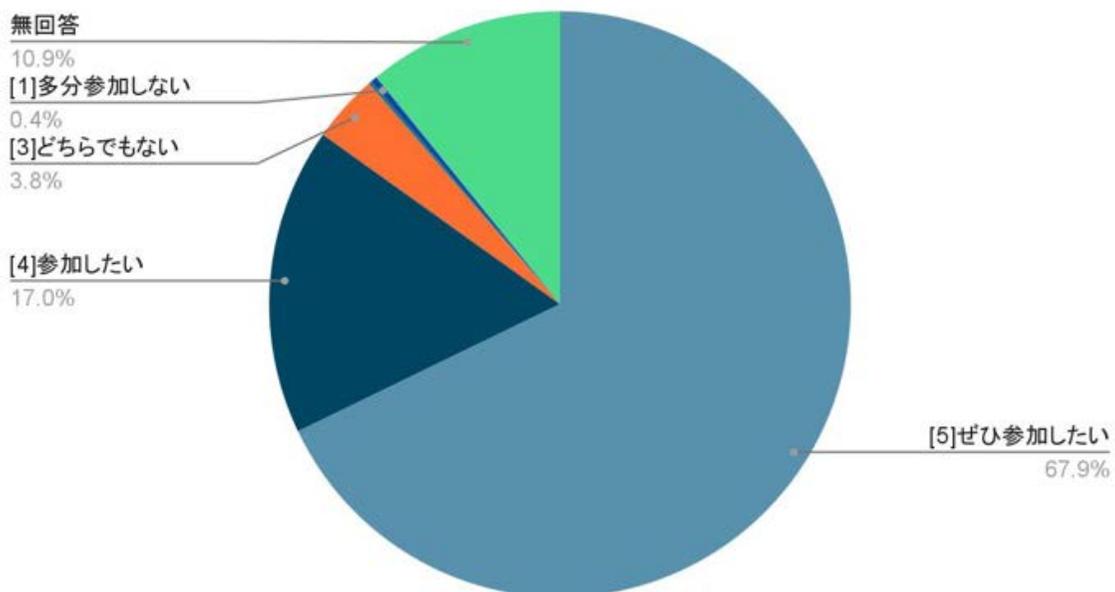
参加者の年代



### 今日の授業は面白かったですか？



### また参加したいですか？



## 企業・自治体様との連携・協賛によって生まれた企画

企業様 / 企画	企画詳細
<b>一般社団法人 渋谷駅前 エリアマネジメント様</b>  「しぶやをつくるゼミ」 第3期 説明会+全7回	第3期ゼミ生募集説明会
	第1回:オリエンテーション・まち歩き
	第2回:グループワーク
	第3回:フィールドワーク
	第4回:グループワーク
	第5回:中間共有会
	第6回:グループワーク
第7回:最終共有会	
<b>京都府綾部市様</b>  「1泊2日ツアー型授業」	【1泊2日】懐かしくて、新しい。森の京都で見つける、里山の暮らし@京都府綾部市
<b>東京都産業労働局様</b>  「誰もが働ける社会をつくる ソーシャルファームを 知って、考えて、動きたくなる ワークショップ」	【第1回】ソーシャルファームって何だろう？
	【第2回】世界のソーシャルファーム～イタリア・アレクサンドリア「地区の家」の活動から
	【第3回】ソーシャルファームのリアル(働く人の目線から)
	【第4回】ソーシャルファームのリアル(雇う人の目線から)
<b>川崎市立幸高等学校様</b>  「ヒューマンライブラリー」	「私の人生の選択」を聞くヒューマンライブラリー
<b>一般社団法人 地域・教育魅力                      化プラットフォーム様</b>  「高校生対象 まち歩きワークショップ」	”はたらく”×シブヤ まち歩きワークショップ

## イベント登壇

- 2023年7月12日  
立命館大学みらいゼミ関連企画「気になるテーマを深めよう！自分らしい関わり方を考えるワークショップ」
- 2023年12月9日  
かわさき市民アカデミー開学30周年記念シンポジウムパネルディスカッション「新しい時代の市民大学」

## メディア掲載

- 2024年2月  
Voters 78号「都市の学び場で「わたし」と社会とのつながりを考える」
- 2024年2月  
SHIBUYA +FUN PROJECT特集コラム第4回  
『しぶやをつくるゼミ』について語る  
～シブヤ大学 深澤さん・青山学院大学 竹田さんを迎えて～



## 7. 運営体制

# 運営体制について



シブヤ大学には、学びの場をつくる多くのボランティアスタッフがいます。授業を企画したり、授業当日の運営をしたり、関わり方は人それぞれ。誰もがつくり手になれるシブヤ大学では、会社員、エンジニア、デザイナー、大学生など、多様な人たちがそれぞれの得意なことや関心を活かし、「つくることを通して学ぶこと」を大切に、主体的に関わることで運営されています。理事会と事務局は、そんなあり方を「縁の下」で支えるような存在です。



正式名称	特定非営利活動法人シブヤ大学
所在地	東京都渋谷区本町5-22-1
常勤職員	2名
理事	左京泰明 伊藤剛 飯田優子 大澤悠季 深澤まどか
監事	松本ルキ

## ボランティアスタッフ

累計登録者数：  
500名以上(2024年4月時点)  
年間のアクティブ人数:40~50名程度

授業の企画・運営

プロジェクトの企画・運営

広報・SNS運用

### 事務局

事業計画・収支計画  
組織運営・統括  
ファンドレイジング  
経理・法務

### 理事会

経営会議  
企画相談  
WEBデザイン

8. 会計報告

(全体)

活動計算書

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 経常収益</b>		
1 受取会費		
10 賛助会員受取会費(法人)	1,000,000	
20 賛助会員受取会費(個人)	405,631	1,405,631
2 受取寄附金	199,349	199,349
3 事業収益		
10 社会教育の推進、子どもの健全育成のための講演会、講習会等による教育事業収益(行政)	9,212,900	
20 社会教育の推進、子どもの健全育成のための講演会、講習会等による教育事業収益(企業)	4,088,700	13,301,600
4 その他収益		
10 サーバー保守管理立替収入	0	
20 その他の収入	258,179	
30 受取利息	59	
40 受取配当金	1,500	
50 雑収入	321,666	581,404
経常収益計		15,487,984
<b>II 経常費用</b>		
1 事業費		
10 人件費		
給与手当	3,818,115	
法定福利費	627,288	
人件費計	4,445,373	
20 その他経費		
福利厚生費	0	
外注費	3,679,041	
広告宣伝費	0	
支払報酬料	301,400	
講師謝礼金	313,052	
複合機レンタル費	163,640	
印刷費	0	
授業コーディネート費	0	
イベントコーディネート費	0	
会場使用費	0	
サーバーレンタル費	0	
その他経費計	4,457,133	
事業費計		8,902,506
2 管理費		
10 人件費		
給与手当	1,636,335	
法定福利費	268,825	
人件費計	1,905,160	
20 その他経費		
福利厚生費	0	
荷造運賃	0	
会議費	31,164	
旅費交通費	295,231	
通信運搬費	288,584	
消耗品費	38,175	
諸会費	10,000	
支払手数料	18,065	
地代家賃	1,071,663	
保険料	26,432	
租税公課	737,315	
減価償却費	0	
雑費	6,000	
長期前払費用償却	43,000	
雑損失	0	
その他経費計	2,565,629	
管理費計		4,470,789
経常費用計		13,373,295
<b>III 経常外収益</b>		0
<b>IV 経常外費用</b>		
支払利息	0	
固定資産除却損	0	0
税引前当期正味財産増減額		2,114,689
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		2,044,689
前期繰越正味財産額		-3,015,049
次期繰越正味財産額		-970,360

書式第15号(法第28条関係)

令和5年度 貸借対照表

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人シブヤ大学

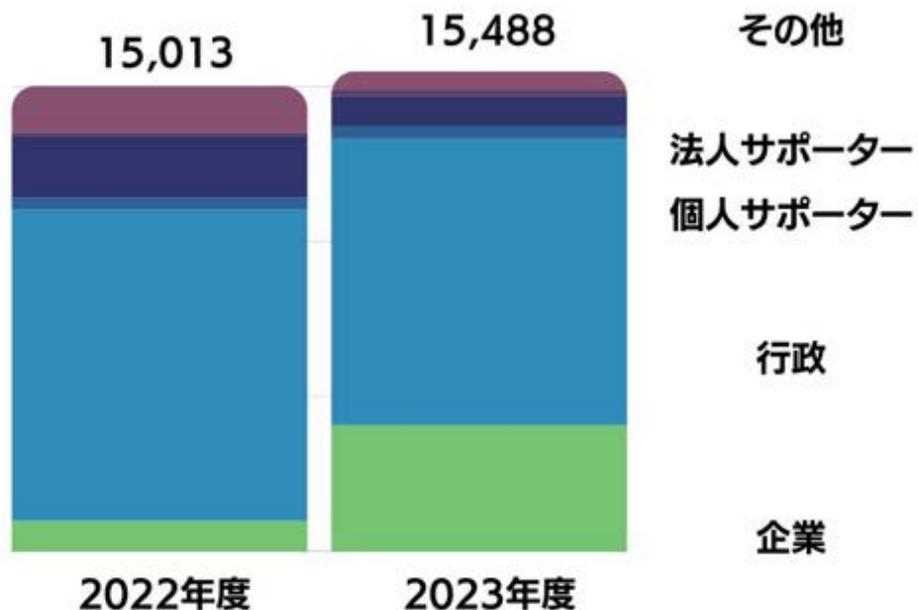
(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金	7,660,319	
未収入金	22,000	
仮払金	142,072	
流動資産合計		7,824,391
2 固定資産		
投資その他の資産		
長期前払費用	157,667	
投資その他の資産計	157,667	
固定資産合計		157,667
資産合計		7,982,058
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金	7,199	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	727,000	
前受金	2,000,000	
預り金	40,219	
流動負債合計		2,844,418
2 固定負債		
長期借入金	6,108,000	
固定負債合計		6,108,000
負債合計		8,952,418
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		-3,015,049
当期正味財産増減額		2,044,689
正味財産合計		-970,360
負債及び正味財産合計		7,982,058

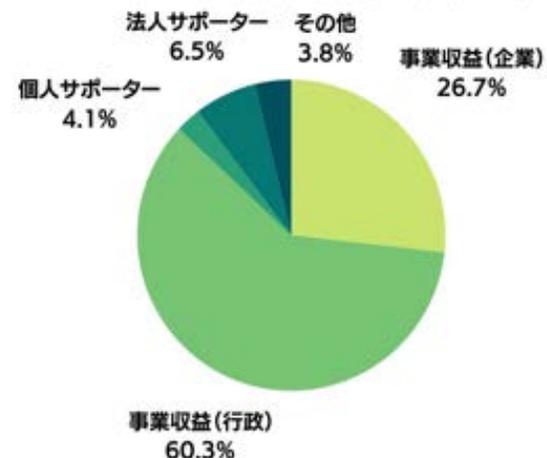
## 2023年度の会計報告

### 2023年度会計報告(経常収益)

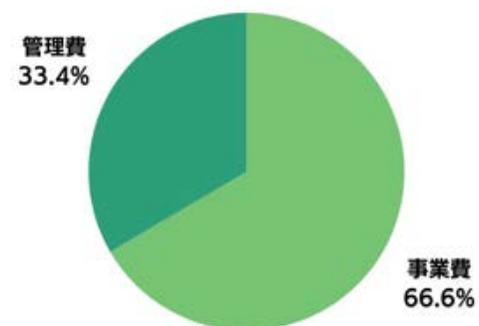
単位: 1,000円



### 2023年度会計報告(経常収益)



### 2023年度会計報告(経常費用)





**今年度 皆様から頂いた寄付は、1,604,980円でした。**

**ご支援いただき、ありがとうございました！**

**2023年度 寄付収入 1,604,980円**

内訳: 1,000,000円 寄付サポーター会費(法人) 株式会社トライアンプ様

405,631円 寄付サポーター会費(個人)

199,349円 授業後募金



**シブヤ大学では、個人サポーター/法人サポーターとして  
活動を支援いただける方を募集しております。**

いただいた寄付は、  
2024年度に開催予定の自主(企業協賛のない)授業の運営費をはじめとする、  
シブヤ大学の運営に関わる費用に活用させていただきます。

<https://www.shibuya-univ.net/co-support/>

今後ともシブヤ大学をよろしく願いたします。

## シブヤ大学「セオリー・オブ・チェンジ(変化の理論)」作成プロジェクト

シブヤ大学に参加した「個人」にどのような変化が起こっているのだろうか？

また、その変化がどのように「社会」の変化につながっているのだろうか？



日々の活動と団体として掲げるミッション / ビジョンとのつながりを可視化することで・・・

1. シブヤ大学に参加したいと思った個人が、  
シブ大のドアを叩いた先に  
どんな世界が広がっているのか想像して  
ワクワクするものをつくりたい

2. シブヤ大学が目指す社会のイメージが伝わり、  
そこへ共感した企業や自治体が  
協働したいと感じられるものをつくりたい

そんな思いから、セオリー・オブ・チェンジを作成しました。

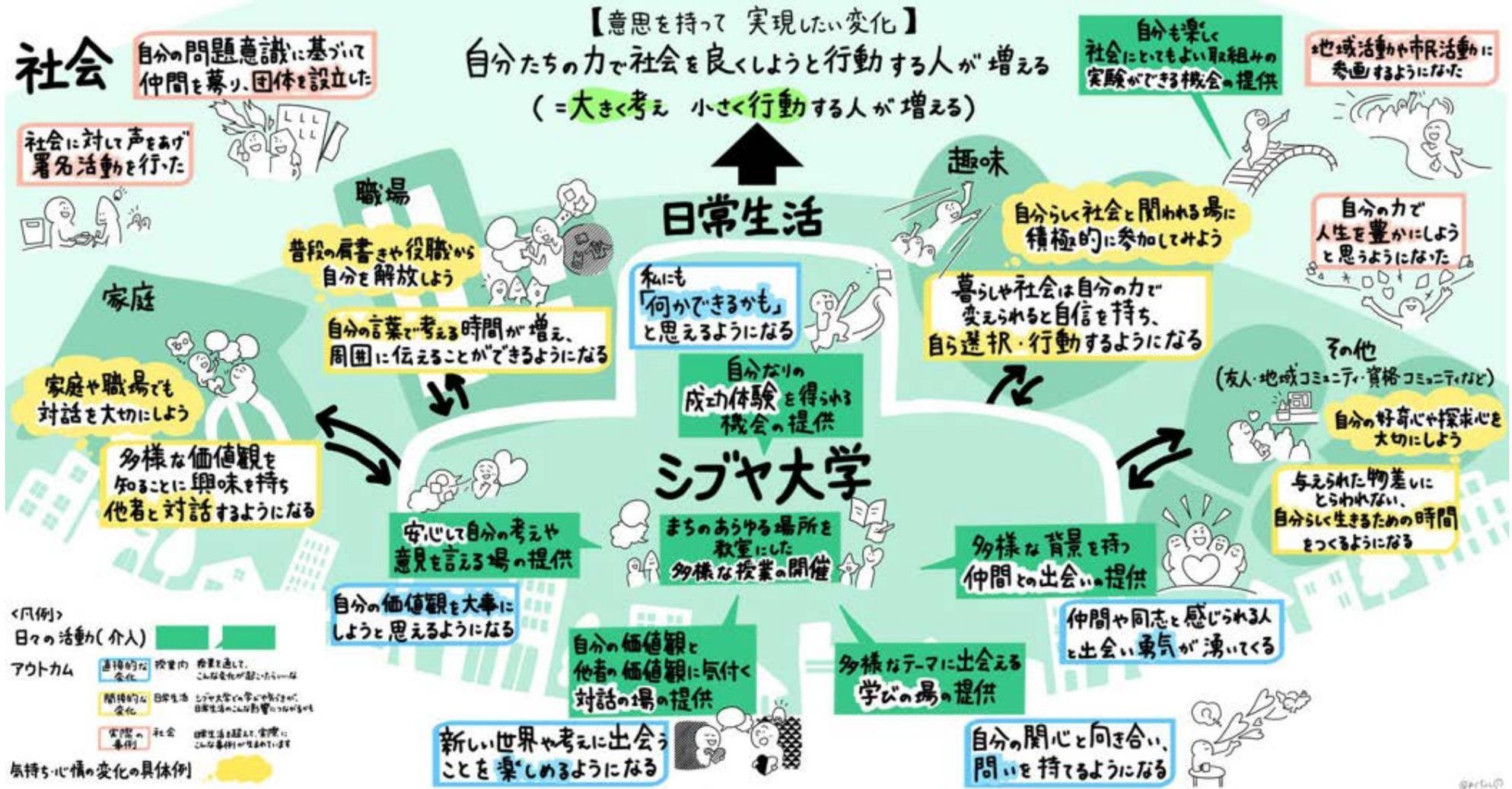
\*「セオリー・オブ・チェンジ」:ある特定の文脈において、どうやって、なぜ、望まれる変化が起こることが期待されるかについて包括的な説明をし、図示するもの。(出典:セオリー・オブ・チェンジ・ジャパン<http://www.theoryofchange.jp/whatistoc>)



# VISION 実現したい社会

## 大人が楽しそうな社会

### 違いがあってもみんなが自由に生きていける豊かな社会



© 2018